

**重度・重複障がいのある子どもの学びを支える  
～伝わる・伝えたい関係づくり～ 実施要項**

- 1 目的 重度・重複障がいのある幼児児童生徒の行動の見取りやかかわり合い、授業づくりについての研修を通して、指導力の向上を図る。  
<県指標項目>特に向上を目指す資質・能力(4 学び構想、5 授業実践、6 生徒理解、9 特別支援)

- 2 主催 福島県特別支援教育センター  
及び 〒963-8041 郡山市富田町字上ノ台4-1  
会場 電話 024(952)6497 FAX 024(952)6599

- 3 期日 令和5年7月5日(水) 9:30 ~ 16:15

- 4 参加者 特別支援学校の教員

5 日程

9:15 9:30 9:45 10:30 10:45 11:00 12:00 13:00 15:45 16:00 16:15

受付	開講式	講義1	協議説明	休憩	協議	昼食・休憩	講義2〔公開講座〕 (適宜休憩)	まとめ	閉講式
----	-----	-----	------	----	----	-------	---------------------	-----	-----

6 研修内容

- (1) 講義1「重度・重複障がいのある幼児児童生徒の授業づくり」  
福島県特別支援教育センター 指導主事
- (2) 協議「重度・重複障がいのある幼児児童生徒とのかかわりを考える」  
福島県特別支援教育センター 指導主事
- (3) 講義2「重度・重複障がいのある幼児児童生徒の理解と授業づくり」(公開講座)  
宮城教育大学 教育学部 特別支援教育専攻 准教授 寺本 淳志 氏

7 提出資料

協議資料「重度・重複障がいのある児童生徒とのかかわりを考える」(別紙様式)を作成し、6月16日(金)午後5時までに、下記メールアドレスへ送信すること。その際、ファイル名は以下のとおりとすること。

- ・ファイル名: 専門12 ○○学校(氏名)
- ・専門研修専用メールアドレス: sc-senmon@momo.fcs.ed.jp

8 その他

- (1) 別紙「研修にあたって」「駐車場案内」を確認のうえ、受講すること。
- (2) 昼食は各自持参すること。
- (3) 受講に際し合理的配慮の提供を希望する場合は、「研修における配慮申請書」(様式6)を受講日の一ヶ月前までに提出すること。申請内容に基づき協議を行い、合意形成を図った上で決定する。なお、様式による意思の表明が困難な場合は、その他の方法による申請も可とする。